



2021年5月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年6月23日

上場会社名 コーセル株式会社
 コード番号 6905 URL <https://www.cosel.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷川 正人
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小西 有吉
 定時株主総会開催予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 2021年7月20日
 有価証券報告書提出予定日 2021年8月10日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 076-432-8151

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期の連結業績(2020年5月21日～2021年5月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	27,020	13.2	3,020	81.1	3,432	109.7	1,077	254.5
2020年5月期	23,865	14.4	1,668	50.3	1,636	50.3	303	85.7

(注) 包括利益 2021年5月期 1,826百万円 (%) 2020年5月期 312百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年5月期	31.07		2.8	7.9	11.2
2020年5月期	8.74		0.8	3.8	7.0

(参考) 持分法投資損益 2021年5月期 21百万円 2020年5月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期	44,506	39,354	88.3	1,133.34
2020年5月期	42,291	38,271	90.4	1,103.09

(参考) 自己資本 2021年5月期 39,308百万円 2020年5月期 38,229百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年5月期	2,436	2,729	816	12,962
2020年5月期	3,022	219	1,825	8,274

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年5月期		8.00		12.00	20.00	693	228.9	1.8
2021年5月期		10.00		7.00	17.00	589	54.7	1.5
2022年5月期(予想)		13.00		14.00	27.00		35.0	

3. 2022年5月期の連結業績予想(2021年5月21日～2022年5月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,740	9.3	1,890	9.0	1,918	0.8	1,346	4.0	38.81
通期	29,200	8.1	3,696	22.4	3,740	8.9	2,672	148.0	77.04

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期	35,712,000 株	2020年5月期	35,712,000 株
期末自己株式数	2021年5月期	1,028,153 株	2020年5月期	1,054,697 株
期中平均株式数	2021年5月期	34,678,732 株	2020年5月期	34,792,531 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年5月期の個別業績(2020年5月21日～2021年5月20日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	21,328	16.7	2,937	85.2	3,620	58.2	543	
2020年5月期	18,275	17.1	1,585	49.6	2,288	28.7	1,471	33.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期	15.69	
2020年5月期	42.28	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2021年5月期	40,327		36,677		90.9	1,057.49		
2020年5月期	40,739		37,906		93.0	1,093.76		

(参考) 自己資本 2021年5月期 36,677百万円 2020年5月期 37,906百万円

2. 2022年5月期の個別業績予想(2021年5月21日～2022年5月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,420	5.9	1,530	6.9	1,560	23.2	1,080	24.7	31.14
通期	22,500	5.5	2,900	1.3	2,940	18.8	2,060		59.39

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

決算補足説明資料は、2021年6月23日(水)に、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大によって大きな影響を受ける中、中国の市況が早期回復し、その他地域においても徐々に事業環境が改善しつつあります。また、各国で経済活動再開に向けたワクチン接種が広がりつつあります。しかしながら、依然として新型コロナウイルス感染症再拡大への懸念や米中関係の停滞による影響等、先行きは不透明な状況であります。

エレクトロニクス業界におきましては、自動車やスマートフォン向け需要の回復や、リモートワークの普及・外出制限による巣ごもり消費等でデータセンターやゲーム機器関連の需要が増加しました。また、これらの需要増加による世界的な半導体需要の高まりから、半導体製造・増産を目的とした設備投資が急速に進みました。

このような情勢の中で当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響によりお客様への訪問営業が制限される中、電話・メール・ウェブを使った拡販活動に注力してまいりました。

新製品につきましては、IoT用途に対応した一般産業機器向けの小型・高効率AC-DC電源「PCA1500F」、小型力率改善回路内蔵AC入力パワーモジュール電源「TUNS1200F」、小型基板単体マルチスロットタイプAC-DC電源「RBC300F」、小型高絶縁DC-DCコンバータ「MHシリーズ」2モデル、単相交入力用ノイズフィルタ「NACシリーズ」電流拡充3モデルをそれぞれ市場投入いたしました。また、海外市場向けに医用電気機器規格に対応した、ユニット型シングル出力AC-DC電源「PJMAシリーズ」2モデル、ユニット型AC-DC電源「WMAシリーズ」2モデルをそれぞれ市場投入いたしました。

生産面では、前期から継続して新型コロナウイルスの感染予防に努めるとともに、先行きの不透明感から増加している先行受注への対応として、部材の安定調達及び生産能力の増強を進めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績につきましては、受注高は281億37百万円(前年同期比6.4%増)、売上高は270億20百万円(同13.2%増)となりました。利益面におきましては、売上高の増加、経費削減活動の効果や新型コロナウイルス感染症の影響による経費支出の先送りに加え、為替差益を計上したことにより、経常利益は34億32百万円(同109.7%増)となりました。また、当社連結子会社であるPowerbox International AB(本拠地:スウェーデン)においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、同社買収時に計上した無形固定資産の一部を減損処理し、特別損失10億97百万円を計上しております。これにより、親会社株主に帰属する当期純利益は10億77百万円(同254.5%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1) 日本生産販売事業

日本国内では、前第4四半期からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大を見越した先行発注による受注急増の反動として、顧客・販売店の在庫及び発注調整があり、第2四半期までの需要は全体的に低調だったものの、それ以降は半導体製造装置関連需要の急回復に加え、第4四半期からはFA関連需要も同様に急回復しました。また、通信分野においては5G関連投資需要が堅調に推移しました。

営業活動につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当社が重視してきた訪問面談が制限される中、販売店との情報共有強化を図り、お客様とのウェブ面談やメールを中心とした拡販活動に取り組んでまいりました。

この結果、前期末の先行発注による受注残の消化もあり、外部顧客への売上高は、171億38百万円(前年同期比14.5%増)、セグメント利益は29億37百万円(同85.2%増)となりました。

2) 北米販売事業

米国では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要の減少を、FAや半導体製造装置関連の需要で補い、好調に推移しました。

営業活動につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動が制限される中、ウェブやメールを中心にファクトリーレップとの連携を図りつつ、拡販活動に注力してまいりました。新製品につきましては、動画を用いてプロモーション強化に取り組んでまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、20億53百万円(前年同期比17.5%増)、セグメント利益は2億12百万円(同89.1%増)となりました。

3) ヨーロッパ生産販売事業

ヨーロッパでは、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響を受け、需要が低迷しました。スウェーデンに本拠点を置くPowerbox社のカスタム電源ビジネスにおいては、下半期からFA、医療、計測機器関連需要の回復傾向がみられたものの、全体としてはヨーロッパ経済の低迷を受け、低調に推移しました。

営業活動につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により自由な移動ができない中、テレワーク中心になっており、ウェブを使った拡販活動に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、49億8百万円(前年同期比3.5%減)、セグメント損失は4億65百万円(前年同期はセグメント損失4億1百万円)となりました。

4) アジア販売事業

アジアでは、中国においては早期に経済活動を再開し、生産活動や投資活動が回復したこともあり、F A や医療機器関連の需要が堅調に推移しました。また、下半期から韓国を中心に半導体製造装置関連の需要が回復しました。

営業活動につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、電話・メール・ウェブを使った拡販活動が中心になっており、特に新規開拓のためのウェブマーケティングに注力しております。

この結果、外部顧客への売上高は、29億19百万円（前年同期比41.8%増）、セグメント利益は1億52百万円（同197.4%増）となりました。

5) 中国生産事業

中国生産事業におきましては、新製品の立上げを推進してまいりました。また、既存製品の生産能力向上のため、増員及び生産設備の増強を進めております。なお、新型コロナウイルス感染症による中国市場への影響が早期に解消したこともあり、受注・出荷は増加傾向にあります。

この結果、セグメント間の内部売上高は、13億87百万円（前年同期比20.3%増）、セグメント利益は1億38百万円（同31.9%減）となりました。

(参考) 製品別の業績

1) 受注高及び受注残高

	当連結会計年度 (自 2020年5月21日 至 2021年5月20日)		当連結会計年度末 (2021年5月20日)	
	受注高 (百万円)	対前年同期増減率	受注残高 (百万円)	対前年同期増減率
コーセル製品				
ユニット電源	14,383	△1.2%	3,647	△6.3%
オンボード電源	8,058	27.5%	2,337	32.6%
ノイズフィルタ	1,105	△9.7%	254	△15.8%
P R B X製品 (※)	4,589	5.6%	3,218	31.3%
合計	28,137	6.4%	9,457	12.4%

2) 売上高

	当連結会計年度 (自 2020年5月21日 至 2021年5月20日)	
	売上高 (百万円)	対前年同期増減率
コーセル製品		
ユニット電源	14,629	15.9%
オンボード電源	7,487	22.8%
ノイズフィルタ	1,153	11.2%
P R B X製品 (※)	3,750	△8.6%
合計	27,020	13.2%

(※) P R B X製品 : Powerbox International ABが開発、製造、販売する製品群

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は323億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ86億50百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が46億88百万円、受取手形及び売掛金が11億37百万円、有価証券が20億円、たな卸資産が7億32百万円増加したことによるものであります。

固定資産は121億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億35百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が2億29百万円、のれん等の無形固定資産が10億4百万円、投資有価証券が51億95百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は445億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億14百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は44億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億23百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が1億83百万円、未払金が1億32百万円、未払法人税等が10億10百万円増加した一方で、その他が2億15百万円減少したことによるものであります。

固定負債は7億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は51億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億31百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は393億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億83百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益10億77百万円、剰余金の配当7億62百万円等により、株主資本が3億39百万円増加したことに加え、為替換算調整勘定が6億82百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は88.3%（前連結会計年度末は90.4%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ46億88百万円増加し、129億62百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、24億36百万円（前年同期は得られた資金30億22百万円）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益24億76百万円に加え、減価償却費12億49百万円、減損損失10億97百万円を計上した一方で、為替差益4億49百万円、売上債権の増加額9億31百万円、たな卸資産の増加額5億24百万円、法人税等の支払額4億24百万円があったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、27億29百万円（前年同期は得られた資金2億19百万円）となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入33億円があった一方で、有形固定資産の取得による支出6億円があったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、8億16百万円（前年同期は使用した資金18億25百万円）となりました。これは主に、配当金の支払額7億62百万円があったこと等を反映したものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年 5月期	2018年 5月期	2019年 5月期	2020年 5月期	2021年 5月期
自己資本比率 (%)	90.4	88.7	90.5	90.4	88.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	120.2	117.1	86.5	72.0	80.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	0.1	0.0	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	164.2	387.2	653.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 2017年5月期、2018年5月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、当該連結会計年度において有利子負債がありませんでしたので記載していません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症再拡大の懸念は残るものの、ワクチン接種の進展や各国の経済対策によって、回復基調が継続するものと思われれます。しかしながら、米中貿易摩擦をはじめとする世界経済の不確実性や、国際政治情勢の混迷が強まっており、予断を許さない状況が続くものと思われれます。

当社グループが属するスイッチング電源市場を取り巻く環境としては、IoT、AI、5G分野の広がりによって、半導体製造装置を中心にFA関連機器、通信機器関連等の需要が堅調に推移すると想定しております。

このような環境の下で、当社グループは経営理念である「品質至上」を核に、品質保証体制の強化と受注変動に強いものづくり体制の構築、新製品開発力強化に取り組むとともに、売上拡大に向けて、顧客密着営業活動と新製品拡販活動に注力してまいります。

次期の連結業績の見通しにつきましては、売上高292億円、経常利益37億40百万円、親会社株主に帰属する当期純利益26億72百万円を予想しております。

(5) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

当社グループは、日本、中国及びアジア、北米、欧州において生産及び販売活動を行っております。新型コロナウイルス感染症に関しましては、今後各国地域でワクチン接種が加速していくものと思っておりますが、依然として感染症の再拡大や経済活動への制限が継続する恐れがあります。その場合、調達先である各国・各地域の主要材料メーカーの操業状況や物流状況によっては部品材料が調達困難となり、当社グループの生産稼働に影響を及ぼす可能性があります。また当社グループや製造委託協力会社の従業員が感染した場合、従業員の自宅待機等により工場の操業停止を余儀なくされ、市場に製品を供給できなくなることから業績に影響を及ぼす可能性があります。

そのような状況下において当社グループでは、感染拡大防止と事業継続の体制維持の観点から、従業員等の健康・安全確保のため、行動指針・対処要領を作成・周知し、部門によっては社外活動の自粛や在宅勤務、オフピーク出勤など感染リスクの低減に向けた諸施策を実施しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、当社グループは、将来における国際会計基準の適用に備え、国際会計基準の知識の習得、日本基準とのギャップ分析、導入における影響度調査等の取組みを実施しておりますが、国際会計基準の適用時期は未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月20日)	当連結会計年度 (2021年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,274,316	12,962,657
受取手形及び売掛金	7,332,942	8,470,064
有価証券	3,300,000	5,300,000
商品及び製品	1,314,902	1,643,865
仕掛品	244,524	373,280
原材料及び貯蔵品	2,844,054	3,118,536
その他	432,196	516,586
貸倒引当金	△13,515	△4,771
流動資産合計	23,729,421	32,380,220
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,443,367	6,814,017
減価償却累計額	△2,933,434	△3,164,266
建物及び構築物(純額)	3,509,933	3,649,750
機械装置及び運搬具	7,345,781	7,474,016
減価償却累計額	△5,726,265	△6,060,892
機械装置及び運搬具(純額)	1,619,516	1,413,124
工具、器具及び備品	5,745,104	5,867,015
減価償却累計額	△5,269,722	△5,392,151
工具、器具及び備品(純額)	475,382	474,864
土地	1,160,362	1,184,262
リース資産	191,966	229,372
減価償却累計額	△48,053	△113,654
リース資産(純額)	143,912	115,718
建設仮勘定	157,939	-
有形固定資産合計	7,067,046	6,837,719
無形固定資産		
ソフトウェア	34,223	33,404
技術資産	609,948	642,905
顧客関連資産	807,832	896,600
のれん	1,238,605	115,639
その他	25,934	23,581
無形固定資産合計	2,716,544	1,712,131
投資その他の資産		
投資有価証券	8,208,578	3,013,157
退職給付に係る資産	153,425	162,085
繰延税金資産	307,819	299,146
その他	108,718	102,006
投資その他の資産合計	8,778,541	3,576,395
固定資産合計	18,562,132	12,126,247
資産合計	42,291,553	44,506,467

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月20日)	当連結会計年度 (2021年5月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,332,862	1,516,064
未払金	269,746	401,862
リース債務	55,418	59,382
未払法人税等	121,422	1,132,224
賞与引当金	361,960	405,054
製品保証引当金	219,000	185,000
その他	922,633	706,880
流動負債合計	3,283,044	4,406,468
固定負債		
繰延税金負債	268,450	324,543
退職給付に係る負債	215,443	216,696
リース債務	85,962	53,201
その他	167,488	151,112
固定負債合計	737,345	745,554
負債合計	4,020,390	5,152,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,055,000	2,055,000
資本剰余金	2,279,881	2,279,881
利益剰余金	35,559,506	35,868,782
自己株式	△1,209,048	△1,178,604
株主資本合計	38,685,340	39,025,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186,370	239,395
為替換算調整勘定	△643,172	39,622
退職給付に係る調整累計額	1,456	4,428
その他の包括利益累計額合計	△455,345	283,446
非支配株主持分	41,169	45,937
純資産合計	38,271,163	39,354,443
負債純資産合計	42,291,553	44,506,467

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)	当連結会計年度 (自 2020年5月21日 至 2021年5月20日)
売上高	23,865,405	27,020,744
売上原価	17,152,989	18,723,409
売上総利益	6,712,415	8,297,335
販売費及び一般管理費	5,044,336	5,276,503
営業利益	1,668,079	3,020,831
営業外収益		
受取利息	27,544	18,266
受取配当金	49,549	32,442
為替差益	-	302,952
受取補償金	24,904	4,961
持分法による投資利益	-	21,503
その他	40,291	36,369
営業外収益合計	142,289	416,495
営業外費用		
支払利息	7,807	3,728
為替差損	159,203	-
自己株式取得費用	2,739	-
その他	3,975	817
営業外費用合計	173,726	4,545
経常利益	1,636,642	3,432,781
特別利益		
固定資産売却益	388	1,092
投資有価証券売却益	-	121,006
補助金収入	54,000	50,000
受取保険金	-	10,929
特別利益合計	54,388	183,028
特別損失		
固定資産売却損	27,038	469
固定資産除却損	1,558	5,696
投資有価証券評価損	109,432	-
減損損失	-	1,097,914
関係会社出資金評価損	70,572	21,190
事業再編損	312,869	14,368
特別損失合計	521,471	1,139,639
税金等調整前当期純利益	1,169,559	2,476,170
法人税、住民税及び事業税	597,528	1,387,773
法人税等調整額	287,141	5,805
法人税等合計	884,669	1,393,578
当期純利益	284,889	1,082,592
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△19,083	5,000
親会社株主に帰属する当期純利益	303,973	1,077,592

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)	当連結会計年度 (自 2020年5月21日 至 2021年5月20日)
当期純利益	284,889	1,082,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,314	53,024
為替換算調整勘定	△582,264	687,604
退職給付に係る調整額	△8,742	2,972
その他の包括利益合計	△597,321	743,601
包括利益	△312,431	1,826,193
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△289,592	1,816,384
非支配株主に係る包括利益	△22,839	9,809

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,055,000	2,279,881	37,588,618	△1,980,525	39,942,974
当期変動額					
剰余金の配当			△561,614		△561,614
親会社株主に帰属する当期純利益			303,973		303,973
自己株式の取得				△999,992	△999,992
自己株式の消却			△1,771,470	1,771,470	-
自己株式の処分					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	△2,029,111	771,477	△1,257,633
当期末残高	2,055,000	2,279,881	35,559,506	△1,209,048	38,685,340

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	192,685	△64,664	10,198	138,219	36,778	40,117,972
当期変動額						
剰余金の配当						△561,614
親会社株主に帰属する当期純利益						303,973
自己株式の取得						△999,992
自己株式の消却						-
自己株式の処分						-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△6,314	△578,508	△8,742	△593,565	4,390	△589,174
当期変動額合計	△6,314	△578,508	△8,742	△593,565	4,390	△1,846,808
当期末残高	186,370	△643,172	1,456	△455,345	41,169	38,271,163

当連結会計年度(自 2020年5月21日 至 2021年5月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,055,000	2,279,881	35,559,506	△1,209,048	38,685,340
当期変動額					
剰余金の配当			△762,726		△762,726
親会社株主に帰属する当期純利益			1,077,592		1,077,592
自己株式の取得				△163	△163
自己株式の消却					-
自己株式の処分			△5,589	30,607	25,017
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	309,276	30,444	339,720
当期末残高	2,055,000	2,279,881	35,868,782	△1,178,604	39,025,060

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	186,370	△643,172	1,456	△455,345	41,169	38,271,163
当期変動額						
剰余金の配当						△762,726
親会社株主に帰属する当期純利益						1,077,592
自己株式の取得						△163
自己株式の消却						-
自己株式の処分						25,017
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	53,024	682,795	2,972	738,792	4,767	743,559
当期変動額合計	53,024	682,795	2,972	738,792	4,767	1,083,279
当期末残高	239,395	39,622	4,428	283,446	45,937	39,354,443

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)	当連結会計年度 (自 2020年5月21日 至 2021年5月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,169,559	2,476,170
減価償却費	1,255,547	1,249,628
減損損失	-	1,097,914
のれん償却額	160,155	174,145
事業再編損	313,249	14,368
関係会社出資金評価損	70,572	21,190
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△106,000	△34,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	37,665	41,174
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△571	△10,236
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△20,499	△2,777
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△30,038	△2,631
受取利息及び受取配当金	△77,093	△50,709
受取保険金	-	△10,929
補助金収入	△54,000	△50,000
支払利息	7,807	3,728
為替差損益(△は益)	77,820	△449,620
有形固定資産売却損益(△は益)	26,650	△623
有形固定資産除却損	1,558	5,696
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△121,006
売上債権の増減額(△は増加)	△279,435	△931,809
たな卸資産の増減額(△は増加)	572,758	△524,644
仕入債務の増減額(△は減少)	△55,433	35,875
その他	518,011	△162,923
小計	3,588,284	2,767,981
利息及び配当金の受取額	78,378	53,250
補助金の受取額	54,000	50,000
利息の支払額	△7,807	△3,728
事業再編による支出	△110,749	△17,558
法人税等の支払額	△579,164	△424,268
保険金の受取額	-	10,929
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,022,941	2,436,606
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,186	△200,909
投資有価証券の売却による収入	-	271,956
投資有価証券の償還による収入	1,200,000	3,300,000
有形固定資産の取得による支出	△908,426	△600,080
有形固定資産の売却による収入	21,674	1,719
事業譲受による支出	△72,672	-
その他	△19,725	△42,977
投資活動によるキャッシュ・フロー	219,663	2,729,708

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)	当連結会計年度 (自 2020年5月21日 至 2021年5月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	21,094	-
短期借入金の返済による支出	△224,097	-
リース債務の返済による支出	△52,343	△48,792
自己株式の取得による支出	△1,002,731	△163
配当金の支払額	△562,059	△762,150
非支配株主への配当金の支払額	△5,148	△5,041
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,825,285	△816,147
現金及び現金同等物に係る換算差額	△211,690	338,173
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,205,630	4,688,341
現金及び現金同等物の期首残高	7,069,506	8,274,316
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△819	-
現金及び現金同等物の期末残高	8,274,316	12,962,657

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が、経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、直流安定化電源の製造・販売を主たる事業としている専門メーカーであります。

国内における製造・販売事業を当社が担当しております。海外においては北米地域(米国、カナダ)の販売事業をCOSEL USA INC. (米国)、ヨーロッパ(主にドイツ、イギリス、フランス、スウェーデン等)における製造・販売事業をCOSEL EUROPE GmbH (ドイツ)及びPowerbox International AB (スウェーデン)、アジア(主に中国、韓国、インド等)の販売事業をCOSEL ASIA LTD. (香港)及び科索(上海)電子有限公司(中国)がそれぞれ担当しております。また、中国における生産事業を無錫科索電子有限公司(中国)、上海科素商貿有限公司(中国)の現地法人が担当しております。

現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本生産販売事業」、「北米販売事業」、「ヨーロッパ生産販売事業」、「アジア販売事業」及び「中国生産事業」の5つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法」であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部取引は、市場実勢価格に基づいております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	ユニット電源	オンボード電源	ノイズフィルタ	P R B X製品	合計
外部顧客への売上高	12,624,014	6,099,680	1,037,135	4,104,574	23,865,405

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	北米	ヨーロッパ	アジア他	合計
14,971,694	1,748,179	5,086,307	2,059,223	23,865,405

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりです。

- (1) 北米……………米国、カナダ
- (2) ヨーロッパ……ドイツ、イギリス、フランス、スイス、オーストリア、ノルウェー、スウェーデン等
- (3) アジア他……………東アジア諸国、東南アジア諸国、インド、オーストラリア等

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	北米	ヨーロッパ	アジア他	合計
5,341,932	8,698	178,072	1,538,341	7,067,046

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高(千円)	関連するセグメント名
㈱リョーサン	3,445,765	日本生産販売事業

当連結会計年度(自 2020年5月21日 至 2021年5月20日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	ユニット電源	オンボード電源	ノイズフィルタ	P R B X製品	合計
外部顧客への売上高	14,629,104	7,487,757	1,153,511	3,750,371	27,020,744

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	北米	ヨーロッパ	アジア他	合計
17,138,178	2,053,911	4,908,703	2,919,951	27,020,744

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりです。

- (1) 北米……………米国、カナダ
- (2) ヨーロッパ……ドイツ、イギリス、フランス、スイス、オーストリア、ノルウェー、スウェーデン等
- (3) アジア他……………東アジア諸国、東南アジア諸国、インド、オーストラリア等

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	北米	ヨーロッパ	アジア他	合計
4,885,163	6,743	174,004	1,771,809	6,837,719

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高(千円)	関連するセグメント名
㈱リョーサン	4,753,134	日本生産販売事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年5月21日 至 2021年5月20日)

(単位:千円)

	日本生産 販売事業	北米 販売事業	ヨーロッパ 生産販売事業	アジア 販売事業	中国 生産事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	1,097,914	—	—	—	1,097,914

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)

(単位:千円)

	日本生産 販売事業	北米 販売事業	ヨーロッパ 生産販売事業	アジア 販売事業	中国 生産事業	全社・消去	合計
当期償却額	8,137	—	152,017	—	—	—	160,155
当期末残高	42,370	—	1,196,234	—	—	—	1,238,605

当連結会計年度(自 2020年5月21日 至 2021年5月20日)

(単位:千円)

	日本生産 販売事業	北米 販売事業	ヨーロッパ 生産販売事業	アジア 販売事業	中国 生産事業	全社・消去	合計
当期償却額	10,101	—	164,044	—	—	—	174,145
当期末残高	32,268	—	83,370	—	—	—	115,639

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年5月21日 至 2021年5月20日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)	当連結会計年度 (自 2020年5月21日 至 2021年5月20日)
1株当たり純資産額	1,103円09銭	1,133円34銭
1株当たり当期純利益	8円74銭	31円07銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)	当連結会計年度 (自 2020年5月21日 至 2021年5月20日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	303,973	1,077,592
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	303,973	1,077,592
普通株式の期中平均株式数(株)	34,792,531	34,678,732

(重要な後発事象)

該当事項はありません。